

私たちは、本校在学中に突然の交通事故で失われた2人の命について考える日を迎えました。大きな夢にチャレンジすることもできずに、命を奪われてしまったことへの深い悲しみ、そして残されたご家族のお気持ちを察すると胸が痛くなります。しかし、このことは私たち全員が、命について考える大きなきっかけになります。私たちの仲間を失った悲しみを、「平和と安全を祈る日」の集会を行うことで、世の中に訴えたいことがたくさんあります。私たちの交通安全への願いは、必ずどこかで生きてくると信じています。また、活かさなければならぬと思います。

一方で、先の大戦で奪われた116名の先輩方の存在を知りました。今、私たちがこうしてこの場所で学んでいるということは、諸先輩方によって結ばれた命の絆であるという

ことを改めて感じる日になりました。

今を生きる私たちができること、それは「交通ルール」をしっかりと守ること、戦争の悲惨さを理解した上で平和を守ること、そして東日本大震災を通して相手を思いやり、分かち合い、支え合う気持ちを持つことだと思います。今日のこの日を、私たちのまわりの全ての人々の、かけがえのない命について考える日として大切にし、私たちから、安全と平和を、心静かに宣言したいと思います。

平成26年5月1日

生徒代表 生徒会長 篠原麻里

体育会サッカー部主将 吉川直樹